

植物の種類によってほしがる栄養分量は全然違うのです。
全ての植物用の肥料を揃えるのはなかなか難しい。
それなら自分で調合してみてもいいでしょうか！

●窒素液体肥料

$N-P-K=5-0-0$

窒素成分だけの液体肥料。

窒素成分は有機窒素と無機窒素があり、植物の種類によって、吸収する窒素成分は違うのです。窒素液体肥料はどちらも入っていますので、植物に吸収されやすくなっております。

窒素成分を与える事により、葉・茎の緑が鮮やかになり、新葉が続々と出て、より良い育成が可能となります。

週1回を目安に窒素液体肥料を必要量与えて下さい。



●第1 燐酸カリ

$N-P-K=0-10-7$

窒素分を全く含まない、花芽形成用液体肥料。

花芽形成時は窒素を極力減らし、P、K分を与える事によって、より鮮やかな花が咲きます。花芽形成時期以外にもP、K分は必要で、花芽形成時期以外にP、K分が不足していると花芽形成時期になっても花芽が着かなくなります。

週1回を目安に第1 燐酸カリを与えて下さい。

●混合微量元素

鉄、銅、亜鉛、マグネシウム、モリブデン、マンガン、ホウ素、硫黄、ナトリウム

植物に必要な成分はN-P-Kだけでなく、その他の微量元素も必要とします。

必要な微量元素が欠乏しますと、生育が遅れ、花が咲かなくなったり、最悪の場合、死に至ります。

混合微量元素を月1回程度与える事で必須微量元素の欠乏を防止し、より良く植物が育成されます。



パレス化学株式会社
Flower&Green Section

神奈川県横浜市金沢区福浦1-11-16
TEL:045(784)7245 FAX:045(788)1524
E-MAIL: fgs@palacechemical.co.jp
<http://www.palacechemical.co.jp>